

県医よろずQ&A

Q 新潟障害者職業センターにおけるリワーク支援(職場復帰支援)の取り組みについて

うつ病により長期間休職した方の職場復帰に向けた取り組み(リワークプログラム)について教えてください。(H生)

A 新潟障害者職業センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、国が行う障害者の雇用施策を推進するため、事業主及び障害者の方を対象に、職業リハビリテーションサービスを提供している障害者雇用の専門機関です。(障害者職業センターは全国52カ所に設置されています)

当センターでは、精神疾患により休職している方の職場復帰を円滑に進めるため、「リワーク支援」を平成17年10月から実施しています。このプログラムは、うつ病などのメンタル面の不調により休職されている方を対象に、各種講座や作業、グループワーク等を通じ、生活習慣の改善や体調面の安定維持、疲労・ストレス対処法の習得、再発防止のための対策検討等を行う、職場復帰に向けたウォーミングアップのための支援です。(医療機関等が行う治療やカウンセリングとは異なります)

以下、当センターにおけるリワーク支援の取り組みについてご紹介します。

【定員、費用】

当センターの物理的・人的要因(部屋の数・面積、支援体制)により、同時期の受け入れ人数は上限15人程度を想定しています。利用開始時期は随時ですので、常時10人前後の方が毎日通所されています。

受講料等の費用負担は特にありませんが、当センターまでの交通費は自己負担になります。また、遠方にお住まいの方には、当センターの規定により宿泊施設(指定のビジネスホテル)を無料で提供しています。

【利用条件】

うつ病などで休職中の方を対象としています。国の機関及び地方公共団体の職員(公務員)の方は利用できません。

リワーク支援の利用にあたっては、ご本人、主治医、企業側の同意(三者合意)が必要になります。

【支援期間】

標準の期間は8~12週間程度ですが、個々の状況やニーズ(ご本人の体調や希望、企業側の受け入れ体制等)に応じて1~4ヶ月程度の範囲内で柔軟に設定します。

支援期間に変更(延長、短縮)が必要な場合は、ご本人及び企業担当者と相談・調整の上、主治医の助言を得ながら支援計画の再策定を行います。

【支援の内容・流れ】

○STEP1: 職場復帰のコーディネート

利用の申込みは、ご本人、家族、主治医、企業担当者(人事労務担当者、産業保健スタッフ等)のどなたからでもOKです。

担当カウンセラーが関係者間の調整を行い、リワーク支援開始に向けた合意形成を図ります。

ご本人が職場復帰を希望し、企業側も復職させる意向があること、また主治医がリワーク支援の実施を了解していれば、リワーク支援開始となります。

○STEP2: 基礎評価、リワーク支援計画の策定

ご本人に対しては、個別相談や各種検査、リワーク支援の体験(1~2週間程度)などを行います。具体的には、体調や気分状態、性格傾向、作業能力、復職に向けた課題点などを把握・整理します。

企業担当者に対しては、企業訪問により事前の打ち合わせを行います。具体的には、職場での状

況(休職に至るまでの経緯)や企業側の意向(職場復帰の時期や復職時の条件等の見通し)などを確認します。

主治医に対しては、主治医の意見書や受診同行等により症状や治療方針、復職時の留意点などの確認を行います。

○STEP3: センター内支援(各種プログラム)

各種講座: ストレス対処講習、認知療法・問題解決技法、対人技能訓練(SST)・アサーショントレーニング、グループワーク、運動・リラクゼーション技法など。

定期的な個別面談: 体調面・生活習慣の確認(生活記録表の活用)、復職に向けた相談。

企業への対応: 企業訪問による支援状況の報告、職場復帰の時期や復職時の条件・対応等についての検討。

○STEP4: リハビリ出勤支援(企業内の環境作り、職場へのサポート)

リハビリ出勤は「復帰予定の職場」でのウォーミングアップのための支援です。支援期間中(休職中)に実施するもので、正式な職場復帰ではありません。

復帰予定先の職場での作業体験や上司・同僚との交流を通じ、復職への不安軽減を図り、スムーズな復職を目指します。

※当センター主体のリハビリ出勤支援は、ご本人・企業双方の意向に応じて実施しています。

○STEP5: 支援の終了と復職後の支援(フォローアップ、定着支援)

リワーク支援終了1ヶ月前を目途に、企業訪問による職場復帰に向けた打ち合わせを行います。

(支援状況の報告、職場復帰の時期や配属先・業務内容、勤務時間、配慮事項等の検討)

リワーク支援終了後は職場復帰から1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後を目安に、電話連絡により適応状況の確認を行うほか、ご本人及び企業担当者からの要請に応じて企業訪問による相談機会を随時設定しています。

【実施状況】

	支援終了者			
	復職	休職中	退職	
H24年度	28	25	2	1
H25年度	45	39	1	5
H26年度	45	38	4	3

【利用者の傾向】(H26年度)

性別: 男性の割合が高く、男女比は約7:3。
年齢: 年齢層は20代前半から50代半ばまで幅広く、特に30~40歳代の割合が6割以上。

居住地: 新潟市外の利用者が4割弱(宿泊施設の利用者は全体の2割)。

主障害: うつ病が大半を占めており、うつ症状を伴う適応障害を含めると9割以上。

職種: 事務職を筆頭に、製造・技術職、管理職、営業・販売職、専門職など多種。

依頼経路: ご本人、企業からの依頼が半々であり、医療機関からの直接依頼はほとんどなし。

支援期間: 標準の8~12週間が最も多く6割以上。8週間未満の短期利用者は2割強。

帰趨状況: 復職率は84.4%。休職継続者に対しては、ご本人・企業担当者からの要請に応じて継続相談や再支援の実施を検討。

(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)
新潟支部 新潟障害者職業センター
上席障害者職業カウンセラー 金沢 寛

【お問い合わせ】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
新潟支部
新潟障害者職業センター(リワーク担当者あて)
〒950-0067 新潟市東区大山2丁目13番1号
TEL025-271-0333 FAX025-271-9522
代表メール niigata-ctr@jeed.or.jp